

## 令和4年度食品ロス発生量の実績について

## 1 秋田市食品ロス削減推進計画

食品ロスの削減の推進に関する法律（令和元年法律第19号）第13条の規定に基づき、令和5年3月に、本計画を策定している。

本計画では、「一人1日当たり家庭系食品ロス発生量」や「事業系食品ロス発生量」について目標を掲げるとともに、期待される役割と現状のギャップを縮めるため推進施策を実施し、目標の達成を目指している。こうした目標と推進施策については、実績の現状分析と評価を行いながら、進捗状況を点検することとしている。

## 2 本計画で掲げる各種目標に対する実績と評価

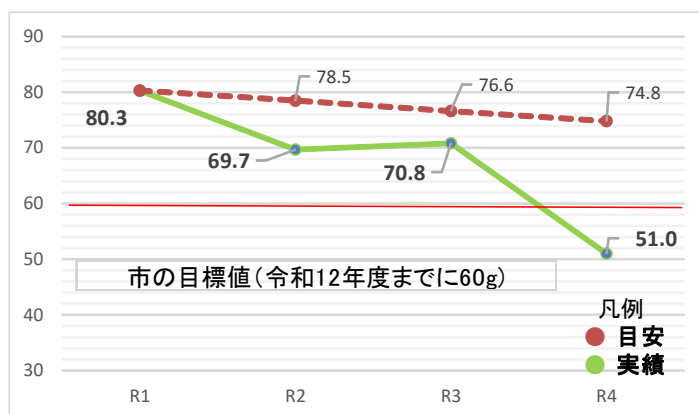
## (1) 一人1日当たり家庭系食品ロス発生量

## 【目標】

一人1日当たり家庭系食品ロス発生量  
令和12年度までに、令和元年度比で25.3%削減する。  
(80.3グラム ⇒ 60グラム)

## 【実績】

	一人1日当たり 家庭系食品ロス (g)	食品ロス 発生量 (t)	直接廃棄 (t)	食べ残し (t)	家庭ごみに含まれる 食品ロスの割合 (%)
R元	80.3	8,971	4,169	4,802	15.8
R2	69.7	7,739	4,143	3,596	13.5
R3	70.8	7,796	4,544	3,252	13.8
R4	51.0	5,553	2,888	2,665	10.1



## 【評価】

令和4年度の一人1日当たりの家庭系食品ロス発生量は、前年度比19.8グラム減の51.0グラムとなっている。一時的に、令和12年度までに達成すべき食品ロス発生量の目標値を下回っている<sup>\*1</sup>が、目標達成については、3年程度動向を見極めながら、継続的に目標値を下回り、ライフスタイルとして定着したかどうかで判断する。

\*1 夏季の組成調査が新型コロナウイルス感染症の拡大により9月実施となり例年と違う組成割合となった影響や、令和4年度冬季以降に見られた消費者物価上昇の影響も考えられる。

## (2) 事業系食品ロス発生量

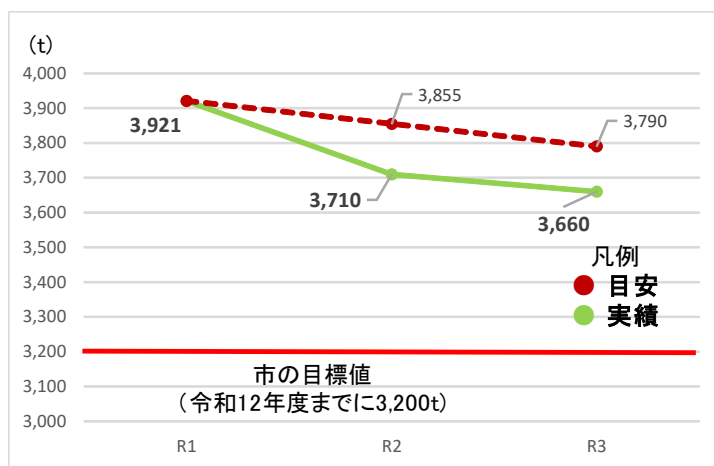
### 【目標】

事業系食品ロス発生量 令和12年度までに、令和元年度比で18.4%削減する。 (3,921t ⇒ 3,200t)
--

### 【実績】

(単位：t)

	事業系 食品ロス	食品製造業	食品卸売業	食品小売業	外食産業
R元	3,921	245	571	1,648	1,457
R2	3,710	282	536	1,529	1,363
R3	3,660	296	590	1,421	1,353



### 【評価】

令和3年度\*の事業系食品ロス発生量は、3,660tとなっている。前年度から50t減となっている。

本市の事業系食品ロスは、外食産業や食品小売業からの発生が多数を占めることから、こうした事業者に対して、引き続き食品ロス削減の啓発を進めていく。

## 3 管理指標 (秋田市の食品ロス発生量)

秋田市の食品ロス発生量 令和12年度に、9,297tとする。 (12,892t【令和元年度】 ⇒ 9,297t【令和12年度】)
--

### 【実績】

(単位：t)

	食品ロス発生量	家庭系	事業系
R元	12,892	8,971	3,921
R2	11,449	7,739	3,710
R3	11,456	7,796	3,660

\*1 試算の根拠としている国の公表データが令和3年度実績までであり、最新が令和3年度となる。